

とは言ふとまゝに「~~()~~ 政治^的論文と命令
 した。Amaris の完全な著作リストは Centenario
 della nascita di Michele Amari; Scritti di filologia e storia
 araba, ecc. Palermo 1910. I. pp. XLV-CVIII に ~~載~~^{収録} され
 てゐる)。しかし存不^一層驚嘆すべきは、^{その著述が} 諸
 國の士として、策士として、又政治家や
 諸研究機関のオーガナイザーとして、或いは又
 上院議員や閣僚として少なからず活動し、実務
 的活動を行つた人であつたことである。
 Amari の生涯はひっそりと静謐な
 のとは程遠かつたが、存不幸せも、運命の
 ほうえと受けたものであつた。それは
 1800 年代の ^一時勢^の であつたのから知られる。
 < Amari の作品 > とする評語
 その最初の出現が今日に「子まで」^の 第十
 年 ~~の~~ ~~月~~ ~~の~~ ~~日~~ ~~の~~ ~~日~~ Amari の丁史序上の著作は、
 その間、と生命を保つ続けた。Amari
 の Storia とほぼ同じ題名のは Dozy の Histoire
 des Musulmans d'Espagne の資料にもヒストリカ
 グラフ、カール正徳のものが、今日で
 は Lévi-Provençal の作品に取って代へられ

政治的活動と実行

て 11 3 の ^レ 墨 印 , て , ^ニ Amari の ^偉 大 后 子 作 品
 は ~~Amari~~ 今 日 新 し い 事 実 が 多 数 有 り 得 ば 不
 可 能 だ り 得 べ し 。 ^{作品の} 多 論 ^の 資 料 は 多 岐 多 岐 整 備 さ れ
 得 ば 可 能 だ り 得 べ し 。 ~~Amari~~ 新 版 資 料 の 発 見 に
 関 連 する 事 実 : 玉 子 院 に 用 意 され 得 ば 資 料
^{より} 更 なる 研 究 に よ り 考 え 出 され 得 ば (ス ー ー ニ
 の ア ラ ビ ア 文 明 に ^{関する} 今 世 紀 に 生 じ た 資 料
 の 増 大 と の 比 較 は (玉 子 院 に 関 連 して) 。 玉 子
 院 の Amari は 従 往 の 作 品 と 可 能 な 限 り 修 正 ・ 増 補
 され 得 ば 可 能 だ り 得 べ し として ~~Amari~~ 稀 見 本
 1 - 1 と して 採 用 され 得 ば 可 能 だ り 得 べ し 。 玉 子 院 の
 意 図 は 従 往 の 既 録 50 年 程 前 後 初 期 に 達 した 可 能
 だ り 得 べ し 。 ^{一人} ~~Amari~~ 著 者 兼 校 訂 者 Carlo Alfonso
 Nallimo に 関 して Nallimo は 二 の 企 業 に 関 連 して
 既 往 の Amari に 関 して 準 備 され 得 ば 可 能 だ り 得 べ し
 全 面 的 に 採 用 され 得 ば 可 能 だ り 得 べ し 。 Nallimo 自 身 の 所 説 は (Amari
 の 原 文 の 修 正 も 若 干 有 り 得 ば 可 能 だ り 得 べ し 文 献
~~Amari~~ 著 者 の ^{より} 修 正 され 得 ば 可 能 だ り 得 べ し 。 ^(玉 子 院 に 関 連 して) 玉 子 院 に 註 釋 され 得 ば 可 能
 だ り 得 べ し 形 式 の 改 善 され 得 ば 可 能 だ り 得 べ し 。 ~~Amari~~ 自 身 が
 修 正 され 得 ば 可 能 だ り 得 べ し 玉 子 院 個 所 を 除 いて Nallimo

もとす"て、~~中世のキリスト教社会~~ ~~中世の初期~~の三四四了
と南イタリアのキリスト教社会 ~~中世の初期~~

~~Amari~~ Amari史学の基本的態度のより深い

批判の Falco によつて行されたのである (~~Amari~~)

Gr. Falco; La Critica (38) 1940 a 358¹⁰ - 以下。反

はこれに Albori d'Europa, Roma 1947, pp. 486-512 に再

録されたこと) 。彼の批判は Amari の基本的

姿勢の弱" 点に効果的に触れて" ことと見られる

こと。その弱" 点とは ^{Amari} 彼の教書の 1700 年代の性格

及びこの時代の " こと" にはイタリア統一への政治

的熱情によつて説明し得るものである。だから

の批判は彼の ~~ヒューマン~~ = ステークの人生

観、丁史上の人物と事件 ^{に對する} ~~の~~ 批判

の擧ぐべき観念 (中世のキリスト教に關係

するものを除" て、彼の研究の ^{定量的な} ~~修正~~ を要する ^{根本的} ~~修正~~)

~~修正~~ する ~~修正~~ 論の判断は一つも存")、政

治史から経済・社会・文化史に及ぶ關心のた

た ~~修正~~ 否定する ~~修正~~ はない。かくの

とく Storia dei Musulmani di Sicilia は 1800 年代 ^の ~~の~~

エニト史学の古典的地位を失つたものである

Fleischer

2. 可ぐれに Dozy の ~~Fleischer~~ , ~~De Goeje~~ De Goeje と
Nallino と比較して ~~De Goeje~~ 上での弱実とみえりの
2. あって、1800 年代を通じてイタリヤの他の

如何なるアラビストよりも、2. アラブ・ニ

4. イタリヤの歴史は語学的水準に於ても はる

かに可ぐれで、2. 本の 2. あり (原註: 著者の念
頭にあるのは、2. 例の博識で 12 あり

4. あり 2. 偏居の奇跡 存字者 M. Lanci (1779-

1857) の 2. あり)。 * Celestino Schiaporelli

(1841-1919)

<<Amaria 後継者伝>>

Amaria は 2. イタリヤ では 2. 教壇 に 2. 立ち ながら、
。 2. 1779 に 2. ツエ で 2. 教 えて 2. 1779 年、2. 幾

人かの 2. イタリヤ 出身の 2. 学生 と 2. 1779 に 2. せ じ、

2. 1779 年 2. 実 と 2. 結 ぶ 2. 1779 年 2. 1779 年 2. 1779 年

(原註: Amari は 2. 1779 年 2. 1779 年 2. 1779 年 2. 1779 年

寓所の 2. アラビ 語の 2. 教授 1779 年 2. 1779 年 (

实际的には 2. 1779 年 2. 1779 年) 2. 1779 年 2. 1779 年

か: '64 年 2. 1779 年 2. 1779 年 2. 1779 年 2. 1779 年

イタリヤに於る 2. 1779 年 2. 1779 年 2. 1779 年 2. 1779 年

は 2. 1779 年 2. 1779 年 2. 1779 年 2. 1779 年 2. 1779 年

あ 2. 1779 年 2. 1779 年 2. 1779 年 2. 1779 年 2. 1779 年

* Bartolomeo Lagúmina (1850-1931)

ニ 417 の 司 祭 Bartolomeo Lagúmina (1850年 - 1931年)

は、實際に Amari に 手 入 れ を 行 っ た 教 師 之 一 人 也 也

と 思 へ ば、こ の 頃、こ の 偉 大 な 同 郷 人 の

學 問 上 の 忠 告 を 受 け、レ - シ ョ - に 入 学 し

出 立 後、こ の 著 作 之 一 として Amari 架 空 的 的

著 作 と して 著 した。Lagúmina は Palermo の 国 立 図 書

館 に 在 る 東 洋 関 係 の 著 作 之 一 として (こ の

著 作 之 一 として 著 した) の 著 作 之 一 として

(原註) Catalogo dei codici arabi della Biblioteca Nazionale di Palermo. =

これは Cataloghi dei Codici Orientali di alcune Biblioteche d'Italia,

の 中 の 一 冊 也 也 (Amari 著 著 作 之 一 として Firenze 1889

と して、こ の 著 作 之 一 として 著 した) の 著 作 之 一 として

内 容 的 に は 全 然 三 十 七 年 と 関 係 有 り 也 也

著 作 之 一 として 著 した) の 著 作 之 一 として

(原註: 1) «Kitāb an-nakhil» o Libro della Palma di Abū Hatim

as-Sigistoni, Roma 1891. = 此 は Memorie dei Lincei, ser. 4

の 中 の 一 冊 也 也)。しか し 此 の 著 作 之 一 として

著 作 之 一 として 著 した) の 著 作 之 一 として

、こ の 著 作 之 一 として 著 した) の 著 作 之 一 として

arabo normanna, 1891 と Catalogo delle monete arabe nella

pubblicati nel testo originale, tradotti e illustrati, I ~~卷~~ ^{第I巻}

の 2 冊 公 刊 せ ば 子 (Palermo 1868-1882) 。 こ の

10 冊 出 版 年 表 上 に 記 載 せ ば 古 文 書 学 者 2 冊

の 人 が ~~其 の 著 明 者 同 じ~~ 10 冊 出 版 年 表

の 著 名 者 人 物 Amari と 同 じ 年 表 関 係 に 関 する

に 著 者 に 関 する 記 載 あり (Casa の ~~著 者~~ 著 文

の 3 冊 1874 年 表 に 著 者 名 あり 著 者 自身 は 1868 年

と 記 載 して あり ~~著 者~~ [~~Nallino~~ Storia dei

Musulmani di Sicilia 2^o ed. I, p. xxxii - Nallino の 著 者 名

著 者 名 = 著 者 名 の 中 に 著 者 名 一 冊 あり

著 者 名 に 著 者 名 あり 著 者 名 Amari の 著 者 名

あり 著 者 名 Amari の 著 者 名 Storia は 著 者 名 著 者 名

全 巻 出 版 年 表 あり 著 者 名 ~~著 者~~ 著 者 名 あり Amari の 著

者 名 Storia の 著 者 名 上 記 著 者 名 Casa の 著 者 名 著

者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名

著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名

著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名

著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名

著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名

著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名

著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名 著 者 名

毛 = ヌ 7 2 ト 5 打 5 下 2 下 6 " 2 3 か. ^惜 ~~し~~
 お 3 く は 2 9 価 値 ^ε 及 2 4 5 序 理 由 2 減 " ^{は け 九 七}
~~の 3 ぬ = 2~~
 1 子 9 2 " あり。即 5. 左 下 中 一 に 未 定 2 あり
 と " 3 = 2, 次 に は 原 文 書 9 ^翻 訳, 解 釈, 分
 析 か, 当 然 2 3 あり 1 ぎ 后 9 下 け 2 " 6 原 文 に
 忠 実 に の, 2 > 2 " 存 " ^{と 11 5} = 2. 更 に は 3 法 論

に ~~給 子 補 平~~ 的 存 欠 隔 が あり と " 3 = 2, ^{こ 一 九 七}

~~" 3 理由 2 あり~~ Cusa は [△] 原 文 書 2 正 確 に 読 み
 と 九 3 部 分 と 2 3 2 " は 存 欠 何 5 か 9 補 足 2 し
 存 欠 2 は 存 3 存 " 部 分; 或 " は 真 ^{17 2} 推 測 し か
 未 来 子 " 部 分 ~~等~~ 等 2 何 5 区 別 し 2 " 存 "
 (= 九 に 2 " 2 [△] Cusa は 本 = 巻 2 説 明 2 5 2 子
 と ~~終 束 し~~ 下 9 下 9 下 9 終 局 本 = 巻 は 本 ⁶ 2 下 9
) し, ~~推 測~~ 古 文 書 序 的, 批 評 的 註 釈 も 見 当 5
 ず. 索 引 も 非 常 に 4 3 "。 だ け 3 = 9 畫 重 合
 文 集 は, ^{17 17 2} Amar: 自 身 に 2 > 2 も 段 立 っ せ 9 下
 っ 下 し, Nallino に [△] Storia 9 本 = 版 2 準 備 し
 2 " 下 的 段 に 立 っ 下 し, 3 9 他 1 4 2 ン . 3
 4 9 下 9 問 題 に 2 7 1 く 2 2 " 子 人 に も 活 用 2
 5 3 (~~推 測~~ 2 古 " 文 書 は Ruggero 氏 9 2 9 2 あり

{原註: 34552 34179 法字彙 955 著者一人 al-majūhī
 12112 M. Asin Palacios の Un faqih siciliano, Contradictor
 de al-Ghazzali. in Centenario Amari II 216-247
 355 (21)

ヲスト, 又トリカケテ著者達の【^{出典} ほか2つ特に
 34179 ~~34552~~ の2-11キ一派の法字彙の】
 伝記として Biblioteca Arabo-Sicula の補足として
 のか Moh. Ben Cheneb (Abū al-'Arab & al-Khushamī の
 Tabagāt による) (原註: Centenario Amari I. 241-276)
 2つあり, E. Griffini (カ-マ- 'Iyād の Tartīb
 al-madārīk の他の7つ2つの紹介による)
 (原註: Ibid., I, 364-448) 2つあり, E. Fagnan (ʿUḥūdallāh
 al-Mahdī の伝記の ^翻 説の他に ~~34552 34179~~
 直接 34179 に触れたものとして 1777
 Magrīzī の Muḡaffā' に ^(原註: Ibid., II, 35-114) 2つあり. 更には
 H. H. 'Abd al-Wahhāb (Ibn al-Khatīb の A'māl al-a'lām
 の 777 781 及び 34179 に関する部分によ
 る. = 912 ~~34552~~ ^{部分} 34179 全体の補足部分の3つ
 2つ最も重要な新し ^{部分} 777 781 2つあり, それ
 2つ ^手 直して 781 782 の部分の2つあり) (原註: Ibid.,
 II, 427-494) ^{2つに} 2つあり. Amarī による2つ3つ
 ・ 34179 に関する部分の1つに校訂された判
 用された ¹ 1つ他の軽々な資料は ~~その5つは~~ 34179
 34179 ~~34552~~ 777 781 が出版された, 再版された

34179 ~~34552~~ 再校訂された

ふうにはなつた。例えは³⁹最も重要なもののうち
 "くつかは³⁹夢"とあれば、マグリブに於ける
~~39~~ Ibn Idhārī の Bayān (Nuova edizione a cura di G.
 S. Colin e E. Lévi-Provençal, I-II, Leiden 1948-1951),
 マグリブ、マロコと及びエチオピアの
 al-Nuwairī の Nihāya (原註: Testo arabo e traduzione
 spagnola a cura di M. Gaspar Remiro, Granada 1917-19.)
 或"は又 Ibn Hawqal の Ibn ^{Jubayn}~~Qutayb~~ の地理学書や旅行
 行記 (原註: Ibn Hawqal ^{ib} ~~in~~ Bibliotheca Geographorum
 Arabicorum II, a cura di M. J. De Goeje & 2^a ediz. a cura di
 J. Kramers, Leiden 1938); Ibn ^{Jubayn}~~Qutayb~~ ^{ib} Gibb
 Memorial Series, V, 1907, ~~col testo del Wright riveduto~~
~~dallo stesso De Goeje.~~) 等である。しかしこれら
 新しく補正されたテキストは、既に述べている
 とく、Amarī の偉大な歴史にはほんの軽微な
 追加はあり、そのうちいくつかは、その中である。す
 て、^{p. 55-551} Storia には、そのほかの地理学書と地球学
 に関し、その大著書が書かれた。"
 彼は 1900 年 ^{atōk} ~~1900~~ 年 ~~1900~~ 年。即ち Vasiliev
 の Vizanti; Arabi (1900年) ~~1900~~, には

1935年に改訂増補の二巻版が出た。

それから J. Gray の *Italie méridionale et l'Empire byzantin* (1904). 及び F. Chalandon の *Histoire de la domination normande en Italie et en Sicile* (1907) がある。

Vasiliev の作品については既に述べた通りである。また *Storia* の基本の歴史の 5 巻の 1-2 巻、

Gray と Chalandon による 2 大巻に引用され且つ ~~征伐の主要な~~ (Gray のは中世初期の南イタリア) 又 ~~11, 12 巻~~ Chalandon に依る 2 巻 (11 巻 - 王国

史) ~~の領域~~ の領域については $n = n = n$ による凌駕は 2 巻にある。しかし、~~また~~ 第三

巻に於ける 1 2 3 4 巻の ~~互に~~ 互に ~~の~~ 間に

下り ~~は~~ ~~の~~ 中 ~~の~~ $n = n$ の出来の相

成 $n = n = n$ である。Vasiliev に $n = n = n$

3 2, 3 4 1 7 征服の諸問題 $n = n = n$ Amari

の ~~論~~ 論 ~~の~~ 機会 ~~も~~ $n = n = n$ である。3 4

1 7 に於ける $n = n = n$ の ~~全~~ 全 ~~貌~~ 貌

と把握 ~~する~~ ためには Amari の *Storia e Biblioteca*

に $n = n = n$ の ~~存~~ 存 ~~が~~ がある。 ~~Camard~~ Camard

同 $n = n = n$

は ³⁹「アラビア語資料集」を編むにあたって
 Amari の Biblioteca に基づく ~~その~~ ^{その} の 2 冊があるが
 . 二の「アラビア語資料集」は、その 12 冊の
 語の作品の刷新し「アラビア語版」として
 に (F) 「その 2 冊 (原註: A. V. Vasiliev, Byzance et
 les Arabes, édition française préparée par H. Grégoire
 et M. Canard, I (La dynastie d'Amorium), II, La
 dynastie macédonienne) Bruxelles 1935-1950.

3411 P 出版に於て「その」はアラビアの歴史
 に関する問題について他は J. B. Bury; The naval
 policy of the Roman Empire in relation to the Western Provinces
 from the 7th to 9th century. (Centenario Amari, II. 24-

34) 参照。) のアラブ・3411 P 文章の分野
 では、Amari の先駆的 ~~業績~~ 業績から Schiaparelli
 は (Ibn Hamdis 歌集の語彙的に極めて精緻な
 校訂をなされたことは既に述べた。二の
 Schiaparelli は、その 2 冊の他、^{Ibn Hamdis は} ~~その~~ 歌集の
 序「3411 P・エジプトの詩人 al-Ballamūbī」の
 校訂を準備した。二つとも未刊に終わった。

アラブ・3411 P の詩人達の他の選集は、

29
詩歌
→

Centenario Amari di Moritz に よ つ て 出 っ て 来 た (7
F. ス ト ー ン 17 17 17 17 17 17) Ibn Sa'id の Mughrib の 三
4 4 7 詩 集 に 合 っ て 来 て " (原 註 : Ibn Sa'id's Be-
schreibung von Sicilien, Centenario Amari, I, 292-305.)

に 此 は A Bibliotheca の 大 部 分 al-Isfahani^{の 詩 集} の ~~詩 集~~ 詩 集
成 っ て 来 て " 2 5 3 に . + = 世 紀 の 初 頭 に 著 名 な
三 4 4 7 の 語 彙 著 に よ つ て 編 じ ら れ た . ア ラ ブ

・ 三 4 4 7 の 詩 人 集 の 大 部 分 ニ ヲ 口 三 一 七 三
Ibn al-Qattā' の ~~著 作 百 冊~~ 著 作 百 冊 が 失 せ ら れ て しま っ
た ^{増 し 9's 5 6 7}

に Durra al-Khatira の 詩 集 に 著 名 な 大 部 分 の ~~詩 集~~
を 収 入 した 1 7 " 3 。 この Durra の 他 の 部 分 (

に 此 は ア ラ ブ 一 七 一 七 朝 の 下 に つ か せ て 来 た 大
著 者 Ibn as-Sairafi * 1147 * に 負 っ て 来 て " 3 の 詩 集
) 著 . I. Di Matteo に よ り 三 の 十 二 = 4 7 の 二 =
二 二 7 4 7 詩 集 に 合 っ て 来 て 校 訂 せ ら れ ^翻 訳 せ ら

て " 3 (I. Di Matteo, Antologia di poeti arabi siciliani,
estratta da quella di Ibn al-Qattā' ; Archivio Storico per
la Sicilia, I (1935), 85-133.) 。 又 三 4 4 7 は 最 近 刊 行

に 此 詩 集 の 存 亡 に つ いて 出 っ て 来 っ て " 3
~~著 者~~ 著 者 に よ つ て 研 究 せ ら れ て " 3 (原 註 : F. Gabrieli ;

L'Antologia di Ibn as-Sairafi sui poeti arabo-siciliani:

Bollettino del Centro di studi filologici e linguistici

siciliani' II, Palermo 1954, 39-51.)。 ~~著者~~

~~著者~~ ≪偉大なるニナリアラビと詩≫ 又著者は ≪偉

大なるニナリアラビ^{u"t}詩^{に詩なり}≫ ≪¹²アラビ^詩ニナリ^ニ - ²アラビ^詩 Ibn

Hamdis a 7° 口 7° - 11 8 伝 之 在 (原注: F. Gabrieli; Ibn

Hamdis, Mazara 1948; 又 F. Gabrieli; Arabi di Sicilia e Arabi

di Spagna, al-Andalus XV (1950), 27-46, 又 F. Gabrieli;

Sicilia e Spagna nella vita e nella poesia di Ibn Hamdis,

Miscellanea Galbiati, Milano 1951, III, 323-333 ~~著~~ = 9 頁

との = 著者は Dal mondo dell'Islam, Napoli 1954. の中 7 章 と 8

11 章 に ~~著~~ 再録 され たり する ()。

(アラブ・シナリアラビ詩)

アラブ・シナリアラビ詩は 全 2 古詩の 活法 及

び 古詩の 作詩法 に 対 する 研究 として 知ら れる

こと である。 ~~アラブの 詩~~ である こと である。

それは muwashshaha 形 である。 zajal の 形式 の

もの (: 9 頁) アラブ 詩 下の 3 ナリ ア に 於 ける

詩 ≪詩集~~著~~ である 状態 である こと である。

と 説明 され たり する こと である こと である。

は 今 まで 3 期待 できる こと である こと である。

1/20 3 4 5 = 2

Amari, III, 225-251) . 又 12 1910 年 15 P. Gabriele

《語源学的符号》(12)

Maria d'Aleppo と Gr. M. Calvarus の 出した Fonti

arabiche nel dialetto siciliano, ~~前~~ 前 = 著 5 11 も
更には

ほ 3 か に 重要 な , 2 の 分 野 2 は 最 も 重要 2 不

と 11 23 Rohlf's の Wagner の 著作 (Rohlf's の 著作)

は Zeitschrift für romanische Philologie XLVI (1927), 147-152,

Wagner の は Byzantinisch-Neugriechisches Jahrbuch VII (1931),

204-213, 及 in Zeitschrift für romanische Philologie LII (1933)

641-670) や , と 1917 の A. Steiger の Contribución

a la fonética del hispano-arabe y de los arabismos en el

ibero-romanico y el siciliano (1932) 2 あり 。 2 の

最 終 の も の は 1900 年 代 に ~~1900 年 代 に~~ 於 け る 最 大

の 貢 献 ^{と なる} がある 。 以上 99 p. まで

ブ・ロマニク語学への 1900 年代 に 於 け る 最 大
(美術)

ア・ラ・ブ・ニキリヲの 語 文 学 史 概 論 が 如 何

に Lagúmina の ~~活~~ 活 動 5 語 の 考 考 と 考 考 と 考 考 と

を 考 考 と 考 考 と 考 考 と 考 考 と 考 考 と 考 考 と 考 考 と

(~~それ~~ ^{それ} は 新 考 考 と 考 考 と 考 考 と 考 考 と 考 考 と 考 考 と 考 考 と)

の 考 考 と 考 考 と (Amari と Lagúmina と 1 5 7 7 集 考 考)

考 考 と 考 考 と 考 考 と 考 考 と 考 考 と 考 考 と 考 考 と

心的な課題は、若しそれが ~~今日~~ ^{今日} ありましても、
その強力な力と有り得る手段とを踏った時
には、主として次の二つである。即ちその

一つは、~~先にも述べたように~~ ^他 Cusa による ~~不~~
~~完全な~~ 例の Cusa による ~~出された~~ ^{出された} Diplomi greci
& arabi di Sicilia である。 ^著 命に ^最 意

Cusa による不完全な解説とほぼ等しい例の文書集と、
~~素~~ 素案の翻訳、著命の註釈を加え、出来れば「今日の要求」に
よって再校 ~~と~~ ^{して}、直に価値あるとすべきあり、他の

一つは [→] al-Idrisi の [→] Libro di Ruggero [→] ~~その全訳~~ [→] ~~に~~ [→] 校訂し、
且つ ~~全~~ 訳 [→] すべきである。①

八世紀前に 1106 年の [→] 王座 [→] の [→] ~~その~~ [→] 生まれ

中世イスラームの学問と [→] 宣大なるルマニの保護との [→] 甚麗な記念碑たる

① 周知のごとき al-Idrisi については、未だその
テキストの全体にわたる校訂は行われてい
ない。但し ~~全訳~~ 全訳は Jambert の全訳がある (Paris,
1836-40)、それは時代遅れで、欠点が多い。

